

令和8年度 芸術系教科等担当教員等全国研修会 テーマ別研修内容【小音3】

【分科会】小学校（音楽）

【実施日】令和8年12月8日（火）

担当大学名	エリザベト音楽大学			
会 場	(会場名) エリザベト音楽大学			
	(所在地) 広島県広島市中区幟町4-15			
講 師 (肩書・氏名)	大迫 知佳子（エリザベト音楽大学教授） 川上統（エリザベト音楽大学准教授） 壬生千恵子（エリザベト音楽大学講師） 三宅悠太（エリザベト音楽大学講師）			
対 象	小学校音楽科担当教員等	定員 (該当欄に○)	参集 オンライン ○	50名

＜テーマ別実践研修＞プログラムの内容				
テーマ	複合メディアコンテンツと音楽づくり／歌唱・合唱指導のヒント／教科等横断的な学びのヒント			
研修内容の概要	①ICTを用いた複合メディアコンテンツと音楽づくりの理論と実践 ②歌唱・合唱指導のヒント ③音楽の授業を中心とした算数科・社会科等を視野に入れた教科等横断的な学びの可能性			
	[学習指導要領との関連] 小学校音楽科：「A表現」(1)「歌唱」ア、イ、ウ、(3)「音楽づくり」ア、イ、ウ、「B鑑賞」(1)ア、イ、〔共通事項〕(1)ア、イ			
内容と方法	①ICT機器を使用して、複合メディアコンテンツと音楽づくりの理論と実践を学びます。 ②歌唱・合唱指導の要点を、実践的に学びます。 ③欧州の事例を例に、社会科・数学科等を視野に入れた音楽科における学びの可能性について考えます。			
到達目標	複合メディアコンテンツと音楽づくりにおけるICT機器の活用方法、歌唱・合唱指導の要点について理解し、豊かで多様な音楽教育を目指した授業展開や指導に活かせるようになる。音楽科と他教科等との横断的な学びの可能性について欧州の例を基に理解し、授業・指導実践に援用できるようになる。			
スケジュール		実施内容		実施方法
	9:00～9:30	受付		
	9:30～10:45	開講式・理論研修（教科・科目別：教科調査官）		オンライン／登壇
	10:45～11:00	休憩・会場移動		
	11:00～12:00	複合メディアコンテンツと音楽づくり（川上）		オンライン（演習）
	12:00～13:00	昼食		オンライン
	13:00～15:00	歌唱・合唱指導の探究（三宅）		オンライン（演習）
	15:15～16:15	音楽を活用した教科等横断的な学び（壬生・大迫）		オンライン（講義）
	16:30～16:50	調査官による全体講評・振り返り		全体講評・振り返り
	16:50	アンケート提出後、研修終了		
教材・持ち物等	iPadあるいはPC 身近にある簡単な楽器やminiキーボードなど			
特記事項	○資料の配布方法：研修会専用ホームページよりダウンロード ○事前・事後課題の有無： なし ○受講する上での環境条件等： インターネット環境			

令和8年度 芸術系教科等担当教員等全国研修会 テーマ別研修内容【小音4】
【分科会】小学校音楽科 **【実施日】令和8年12月10日（木）**

担当大学名	東京藝術大学			
会 場	(会場名) 東京藝術大学上野キャンパス Arts & Science LAB球形ホール			
	(所在地) 東京都台東区上野公園 1 2 - 8			
講 師 (肩書・氏名)	石上則子（元東京学芸大学准教授）、岡田満里子（打楽器奏者）			
対 象	小学校音楽科担当教員等	定員 (該当欄に○)	参集 ○ オンライン	30名

＜テーマ別実践研修＞プログラムの内容			
テーマ	打楽器の魅力～器楽と音楽づくりとの関連を図って～		
研修内容の概要	本研修では、打楽器を活用した「器楽」と「音楽づくり」を関連付けた授業の構想や指導の在り方について学ぶ。打楽器ならではの多様な音色や響き、奏法によって生まれる表現の面白さを体験するとともに、それらを活用した即興や音楽づくりに取り組む。		
	[学習指導要領との関連] 小学校音楽科：「A表現」(2)「器楽」ア、イ、ウ、(3)「音楽づくり」ア、イ、ウ、〔共通事項〕(1)ア、イ		
内容と方法	本研修では、打楽器を活用した「器楽」と「音楽づくり」の相互の関連を踏まえた授業づくりについて、講義と演習を通して学ぶ。前半では、実際に様々な打楽器に触れながら、多様な音色や響き、奏法によって生まれる表現の面白さを味わい、打楽器ならではの魅力について理解を深める。後半では、それらの経験を生かし、即興的な活動や音を組み合わせる音楽へと構成していく音楽づくりを体験する。さらに、演奏活動から得られた気付きや発想を音楽づくりへと発展させる学習展開について考察し、「器楽」と「音楽づくり」を関連付けた授業の在り方を検討する。最後に、受講者同士の意見交流を通して実践上の課題や工夫を共有し、学習指導の改善に向けた視点を深める。		
到達目標	1 打楽器の魅力や表現の可能性について再認識し、それらを生かした「器楽」及び「音楽づくり」の活動を工夫することができる。 2 「器楽」と「音楽づくり」の関連を踏まえ、児童の主体的な学びを支える授業展開や題材構成について考察することができる。		
スケジュール		実施内容	実施方法
	9:00～9:30	受付	
	9:30～10:45	開講式・理論研修（教科・科目別：視学官）	参集／登壇
	10:45～11:00	休憩・会場移動	
	11:00～12:00	テーマ別実践研修①：打楽器の奏法と表現の工夫の可能性	参集（講義・演習）
	12:00～13:00	昼食	
	13:00～14:00	テーマ別実践研修②：体を楽器としたアンサンブルの魅力	参集（演習）
	14:15～16:15	テーマ別実践研修③：打楽器を活用した音楽づくり	参集（演習）
	16:20～16:40	振り返り・質疑応答	グループワーク
	16:40～17:00	視学官による全体講評	全体講評
	17:00	アンケート提出後、研修終了	
教材・持ち物等	可能な方は、クラベス、トライアングル、タンブリン、ギロをご持参ください。		
特記事項	○資料の配布方法：当日配布 ○事前・事後課題の有無：無 ○受講する上での環境条件等：学内に学食はございますが、混雑が予想されます。		

令和8年度 芸術系教科等担当教員等全国研修会 テーマ別研修内容【小音5】

【分科会】小学校音楽科

【実施日】令和8年12月11日（金）

担当大学名	東京音楽大学			
会 場	(会場名) 東京音楽大学 池袋校舎			
	(所在地) 東京都豊島区南池袋3-4-5			
講 師 (肩書・氏名)	坂本夏樹（東京音楽大学講師）、壬生千恵子（東京音楽大学教授）、小酒部あゆみ（東京音楽大学助手）他			
対 象	小学校音楽科担当教員等	定員	参集 ○	30
		(該当欄に○)	オンライン	

＜テーマ別実践研修＞プログラムの内容			
テーマ	音や音楽によるコミュニケーションと音楽づくり		
研修内容の概要	「音や音楽によるコミュニケーション」についての概説と実践ワークショップ		
	[学習指導要領との関連] 小学校音楽科：「A表現」(3)「音楽づくり」ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ) 「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(1)ア」〔共通事項〕(1)ア、イ		
内容と方法	①音や音楽によるコミュニケーションの基本的なあり方や効果について、概説を通して理解します。 ②音楽づくりワークショップ（グループワークによる実践）を体験し、様々な方法を学びます。 創作発表と振り返り、相互ディスカッション等を通して、理解を深めます。		
到達目標	音や音楽によるコミュニケーションを通じた音楽づくりについて、基本的な知識とスキルを習得し、授業で実際に活用できるようになる。		
スケジュール		実施内容	実施方法
	9:00～9:30	受付	
	9:30～10:45	開講式・理論研修（教科調査官）	参集／登壇
	10:45～11:00	休憩・会場移動	
	11:00～12:00	音・音楽によるコミュニケーションとは	参集
	12:00～13:00	昼食	
	13:00～14:30	ワークショップ1 音・音楽によるコミュニケーションから音楽づくりへ	参集（グループワーク）
	14:30～14:45	休憩	参集（グループワーク）
	14:45～16:30	ワークショップ2 音楽づくり実践、発表と振り返り	参集（グループワーク）
	(※)16:40～17:00	全体講評・振り返り（教科調査官）	全体講評・振り返り
	17:00	アンケート提出後、研修終了	
教材・持ち物等	特になし（もしあれば、マラカスなど身近で持参可能な楽器）		
特記事項	○資料の配布方法：予定なし ○事前・事後課題の有無：なし ○受講する上での環境条件等：身動きのしやすい服装でご参加ください。 ○昼食は学生食堂がご利用いただけます。近隣に飲食店、コンビニ有り。		

令和8年度 芸術系教科等担当教員等全国研修会 テーマ別研修内容【小図6】

【分科会】小学校図画工作科

【実施日】令和8年12月11日（金）

担当大学名	東京造形大学			
会 場	(会場名) 東京造形大学			
	(所在地) 東京都八王子市宇津貫町1556			
講 師 (肩書・氏名)	前半(実技):豊嶋康子教授 石賀直之教授 後半(理論):石賀直之教授 豊嶋康子教授			
対 象	小学校図画工作科担当教員等	定員 (該当欄に○)	参集 ○ オンライン	20名

＜テーマ別実践研修＞プログラムの内容	
テーマ	「見方を変える」を考えようー思考力、判断力、表現力等（発想や構想）を育成する高学年の造形遊びー
研修内容の概要	身の回りの環境や材料に対して感じたことに対して表現活動を行う高学年の造形遊びを行います。本研修では主に「見方を変えることに気づく」ことに主眼を置きつつ、高学年の造形遊びのねらいや意図の実践的な理解を深めていきます。資質・能力の育成の観点では日常的に過ごす空間や見慣れたものや出来事に変化を与えることを通して主に思考力、判断力、表現力等について高めていきます。 まず始めに環境及び材料の見方とはなにか豊嶋康子講師の身の回りの捉え方とその表現に関する作品を見ながらディスカッションを行い、見方を変えるとは何かについて理解していきます。その後、実際に豊嶋康子講師の体験的な作品を受講者自身が実践します。これら一連の活動の中で高学年の造形遊びに見られる学習のあり方について豊嶋康子講師と石賀直之講師と対話をしながらさらに理解を深めていきます。 その後、学習指導要領との関連について石賀直之講師より理論研修を行い、受講者同士のグループディスカッションにおいて高学年の造形遊びの具体的な題材のあり方について議論していきます。また、高学年の造形遊びにおけるICTの活用方法について理解していきます。 [学習指導要領との関連] 小学校図画工作科（第5学年及び第6学年）：A表現(1)ア(2)ア B鑑賞(1)ア 〔共通事項〕(1)ア、イ
内容与方法	前半 実技講習 豊嶋康子教授 石賀直之教授 1) 豊嶋康子講師の作品群を鑑賞しながら環境及び材料の見方、捉え方について理解を深める。 2) 豊嶋康子講師の作品や表現に対してグループでディスカッションを行う。 3) 「見方を変える」をテーマにした環境・空間・材料・体験を生かした造形遊びを行う。 後半 理論講習 石賀直之教授 豊嶋康子教授 1) 前半の実技講習と学習指導要領の関連について理解する。 2) 高学年の造形遊びの具体的な題材のあり方についてグループディスカッションを行う
到達目標	○造形遊びにおける材料や場所、空間の意味とその価値に気づくための見方・考え方を理解する。 ○活動の過程で生まれる発想や、考えや思いの方向性の再検討といった高学年の造形遊びに見られる学習のあり方を理解し、その指導法について学ぶ。 ○高学年の造形遊びにおけるICTの効果的な活用の仕方について理解する。

		実施内容	実施方法
スケジュール	9:00～9:30	受付	
	9:30～10:45	開講式・理論研修	参集／登壇
	10:45～11:00	休憩・会場移動	
	11:00～12:15	講義及びディスカッション：材料や環境を生かした作品の鑑賞	参集
	12:15～13:15	昼食	
	13:15～14:45	実技：環境や材料の見方を変える造形遊びの実践	グループワーク
	14:45～15:30	実技：講評会及びディスカッション	参集
	15:45～16:00	講義：学習指導要領から見る実技と造形遊びとの関連	グループワーク
	16:00～16:30	実技 グループワークによる題材作成	グループワーク
	16:40～17:00	教科調査官による全体講評	全体講評・振り返り
	17:00	アンケート提出後、研修終了	参集
教材・ 持ち物等	受講会場で配布いたします。		
特記事項	○資料の配布方法：研修会専用ホームページよりダウンロード		

令和8年度 芸術系教科等担当教員等全国研修会 テーマ別研修内容【小図7】

【分科会】小学校図画工作科

【実施日】令和8年12月11日（金）

担当大学名	東京造形大学			
会 場	(会場名) 東京造形大学			
	(所在地) 〒192-0992 東京都八王子市宇津貫町1556			
講 師 (肩書・氏名)	岩瀬大地 教授 小林貴史 教授			
対 象	小学校図画工作科担当教員等	定員 (該当欄に○)	参集 ○	12名
			オンライン	

＜テーマ別実践研修＞プログラムの内容			
テーマ	自然物とのかかわりから学びの深まりへと 造形活動が育む資質・能力のつながり		
研修内容の概要	東京造形大学は、森の中の大学です。本研修では、はじめにその自然に触れることから図画工作科の活動における材料とのかかわりについて考えていきたいと思います。つくるための材料として自然物を対象化することだけではなく、そこに働きかけていくことからその中にある自然の姿に気づき、表現への発想や構想を豊かに広げ、学びの深まりへとつながる活動の手がかりに触れていきます。また、自らが手を加えたものをあらためて自然の場に置き鑑賞することから、自然の中に在る私が表現することの意味や価値を考えます。そして、これらのことから学びにおける資質・能力が目標と評価として個別に掲げられることにとどまらずに、活動を通して関連しながら働くことによって資質・能力そのものが高まることを確かめていきたいと思います。		
	[学習指導要領との関連] 小学校図画工作科：「A表現」(1)ア(2)ア 「B鑑賞」(1)ア〔共通事項〕(1)ア、イ		
内容と方法	大学にある里山の中に入り、視覚的なとらえだけではなく身体を通して自然を感じ取ります。木の枝など自然物を採集し、それらを皮をはいたり、削ったりすることから発想を広げて、自然物がもつ造形的な美しさを顕在化していきます。そして、表現したものを自然の中に置くことによって環境を新たな視点でとらえ直すとともに、環境の一部として表現が生かされていることを確認していきます。また、実技研修での体験をもとに、図画工作科の授業における材料のものやこととしての意味を問い直していくことから、学びの深まりへとつながる資質・能力の働きについて話し合います。		
到達目標	図画工作科という教科の特質をもとに、自然物とのかかわりから表現し鑑賞することにある資質・能力の働きを確かめ、学びの深まりへとつながる授業づくりを考える。		
スケジュール		実施内容	実施方法
	9:00～9:30	受付	
	9:30～10:45	開講式・理論研修（教科・科目別：教科調査官）	参集／登壇
	10:45～11:00	休憩・会場移動	
	11:00～12:00	テーマ別実践研修（午前の部）・里山の散策 ・自然物の採集	参集
	12:00～13:00	昼食	
	13:00～15:00	テーマ別実践研修（午後の部）・自然物を加工 ・鑑賞	参集
	15:00～15:10	休憩	各自作業
	15:10～15:30	自然物とのかかわりから学びが育む資質・能力について検討	グループワーク
	16:40～17:00	全体講評・振り返り	全体講評・振り返り
	17:00	アンケート提出後、研修終了	
教材・持ち物等	エプロンや汚れてもよい服装、靴の準備		
特記事項	○資料の配布方法：研修会専用ホームページよりダウンロード ○事前・事後課題の有無：無し ○受講する上での環境条件等：昼食には学食も利用できます。（学外近隣には飲食店がありませんので、ご注意ください。）		

令和8年度 芸術系教科等担当教員等全国研修会 テーマ別研修内容【中高音3】

【分科会】中学校音楽科・高等学校芸術科（音楽）

【実施日】令和8年12月8日（火）

担当大学名	エリザベト音楽大学			
会 場	（会場名） エリザベト音楽大学			
	（所在地） 広島県広島市中区鞆町4-15			
講 師 （肩書・氏名）	松波匠太郎（エリザベト音楽大学講師） 朴守賢（エリザベト音楽大学専任講師） 長谷川諒（エリザベト音楽大学専任講師）			
対 象	中学校音楽科・高等学校芸術科（音楽）担当教員等	定員 （該当欄に○）	参集 オンライン ○	50名

＜テーマ別実践研修＞プログラムの内容				
テーマ	授業展開と指導実践のヒント～音楽科教育と「よさや美しさ」、創造性のある器楽合奏実践、ICTを活用した音楽づくり～			
研修内容の概要	① 音楽科教育における「よさや美しさ」の理論と実践 ② 創造性のある器楽合奏実践 ③ ICTを用いた音楽づくりの理論と実践			
	[学習指導要領との関連] 中学校音楽科： 第1学年、第2学年及び第3学年／「A表現」(2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ) (3)創作ア、イ(ア)(イ)、ウ 「B鑑賞」(1)鑑賞ア(ア)(イ)(ウ)、イ(ア)〔共通事項〕(1)ア、イ 高等学校芸術科（音楽）： 音楽Ⅰ、音楽Ⅱ／「A表現」(2)器楽ア、イ(ア)(イ)(ウ)、ウ(ア)(イ)(ウ) (3)創作ア、イ、ウ(ア)(イ) 「B鑑賞」(1)鑑賞ア(ア)(イ)(ウ)、イ(ア)〔共通事項〕(1)ア、イ 音楽Ⅲ／「B鑑賞」(1)鑑賞ア(ア)(イ)(ウ)、イ(ア)〔共通事項〕(1)ア、イ			
内容と方法	① 学習指導要領の重要キーワードである「よさや美しさ」に注目し、その理論的背景について学ぶとともに、子どもが「よさや美しさ」を「感じる」ことができるような授業実践について考えます。 ② ルフシュールベルクやミニマルの発想で創造的なオリジナルのアンサンブルを提案します。 ③ ICT機器等を使用した、「音を音楽へと構成する」活動の活用方法や動向について、基本からAIまで理解します。（音楽創作アプリ：Song Maker、Garage Band、カトカトーンなど）			
到達目標	① 「よさや美しさ」に関する基礎的な理論的知識を獲得したうえで、それをもとに音楽科の授業を構想できるようになる。 ② 創造的な器楽合奏について考え、豊かで多様な音楽教育を目指した授業展開や指導に活かせるようになる。 ③ 音楽づくりにおけるICT機器の使用法を実践的に知ることを通して、豊かで多様な音楽教育を目指した授業展開や指導に活かせるようになる。			
スケジュール	実施内容			実施方法
	9:00～9:30	受付		
	9:30～10:45	開講式・理論研修（教科調査官）		オンライン／登壇
	10:45～11:00	休憩・会場移動		
	11:00～12:00	音楽科教育における「よさや美しさ」の理論と実践（長谷川）		オンライン（講義）
	12:00～13:00	昼食		
	13:00～15:00	創造性のある器楽合奏実践（朴）		オンライン（演習）
	15:10～16:30	ICTによる音楽創作（松波）		オンライン（演習）
	16:40～17:00	全体講評・振り返り（教科調査官）		オンライン
	17:00	アンケート提出後、研修終了		

教材・ 持ち物等	iPadあるいはPC 身近にある簡単な楽器など
特記事項	○資料の配布方法：研修会専用ホームページよりダウンロード ○事前・事後課題の有無： なし ○受講する上での環境条件等：インターネット接続が可能な場所